

ご用意いただく資料について

演奏会の収録をするにあたり、ビデオ屋さんにとってスコアは何よりも大切な道しるべです。

楽器のセッティングや人数が違えば撮影方法も大幅に変わってきます。

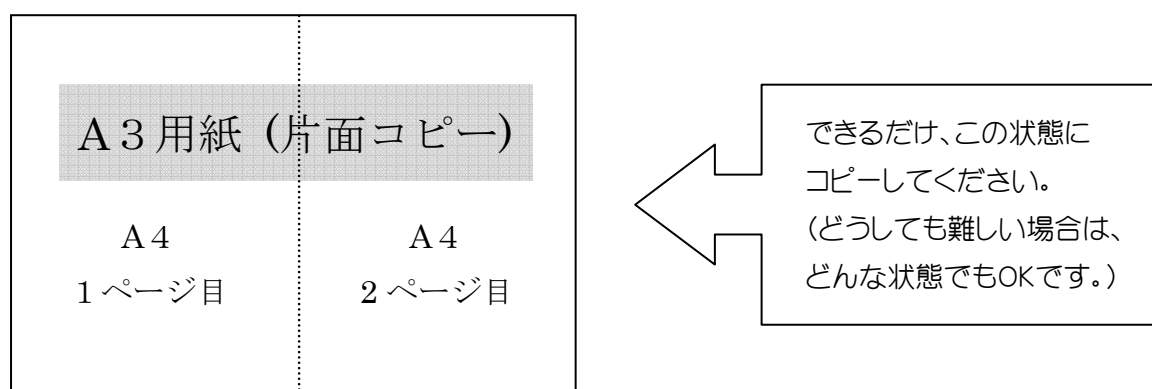
たとえどんなに知り尽くしている曲でも、あらかじめ、「どこでどの楽器を映すか」をきっちりとスコアに書き込んでから本番に臨んでいます。(これを、カット割りといいます。)

よりよい撮影をするためには、撮影に適した状態に製本されたスコアが必要です。

しかし、その状態に製本していただくのは少し難しいので、製本の一手手前までを準備していただきたいと思えます。

スムーズに撮影準備ができるよう、ご協力をお願いいたします。

<スコアについて>



- ・ 製本はこちらでしますので、折り目を付けず、コピーをしたままの状態でお渡しください。
(特に、ホッチキス止めや、製本テープの使用は厳禁です!! ページをめくった時に戻ってしまうので…)
- ・ カットやリピートの有無、スタンドプレイ、楽器の持ち替え (例: OboeのソロをSop.Saxで吹くetc…) など、譜面と違うことは必ず分かるように記入してください。(別紙に箇条書きでもOKです)
- ・ 撮影希望箇所がある場合、鉛筆でその小節の上部に楽器名を記入してください。
(やむを得ず蛍光ペンを使用する場合は、必ず黄色をお願いします。)
- ・ ページ抜けがないか、上下が逆さになっていないか、最終チェックをお願いします。(←よくあります)

<セッティング表・プルト表について>

- ・ Perの配置は細かく書いてください。(特に小物楽器の位置)
- ・ TpとCorでパートが分かれている曲の場合は、どちらがTpなのか、Corなのかを書き分けてください。
- ・ ソロの人に印を付け、どの部分のソロか分かるようにしてください。(練習番号や小節番号を書く)

いただいたセッティング表を基に、効率よく撮影できるようカット割りをしていきますが、例えば「ここではTpとTimpの掛け合いを一緒に映そう」などと考えていても、実際にステージを見ると、あまりにも遠すぎてせつかくの計画がパー！になることがよくあります。

実際に楽器をステージに乗せてみないと配置が決定しないということも理解していますが、できるだけ本番通りの配置に忠実に描いていただけるとものすごく————助かります。